

川島大橋災害復旧事業 新しい川島大橋の計画・工事説明会

令和4年11月22日、24日、25日
中部地方整備局 岐阜国道事務所

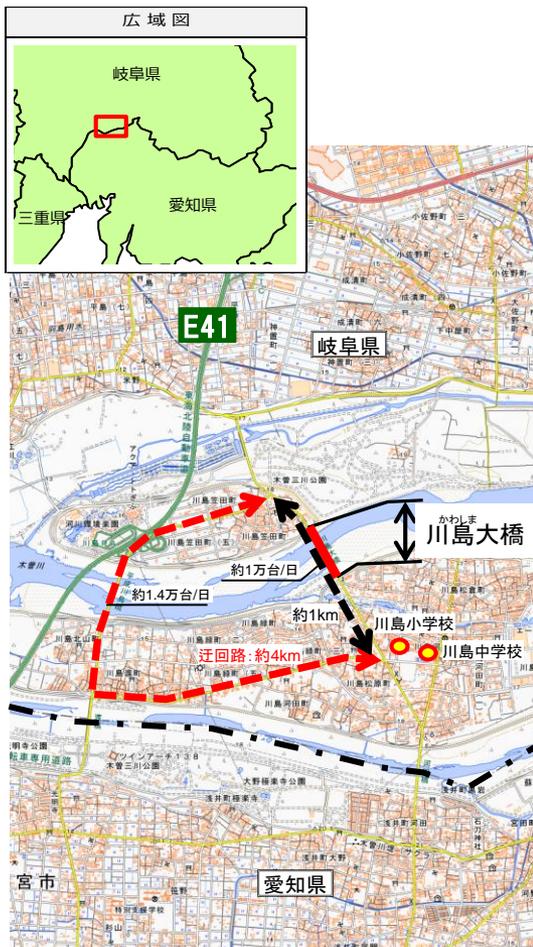
■ 説明内容

1. 経緯と現状
2. 新橋の計画について
3. 新橋の工事について

1. 経緯と現状

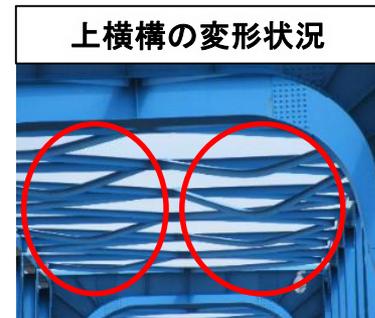
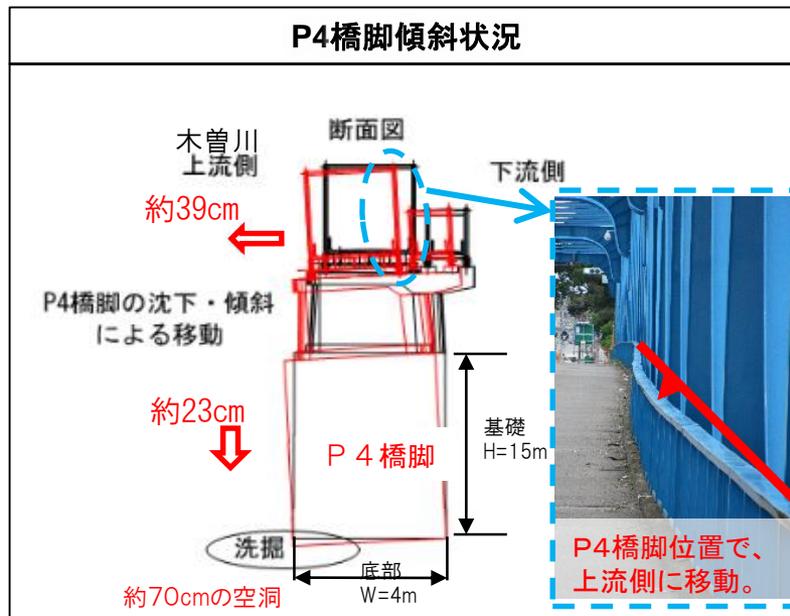
川島大橋災害復旧事業について

○川島大橋は、令和3年5月豪雨により被災し、橋脚基礎の洗掘による傾きが発生したため通行止めとなっており、令和3年9月3日より、国の権限代行による災害復旧事業に着手しました。
 ○現在、令和4年12月1日の新橋工事着手に向けた準備を進めています。



〈川島大橋 橋梁諸元〉

上部構造形式	鋼5径間連続下路式トラス橋
下部構造形式	逆T式橋台、壁式橋脚
基礎形式	ケーソン基礎
橋長	343.5m
竣工年月	1962年8月



P4橋脚位置で、上流側に移動。



被災した川島大橋撤去(令和4年3月時点)



歩行者用仮橋施工時(令和4年5月時点)



現在の状況(令和4年11月時点)

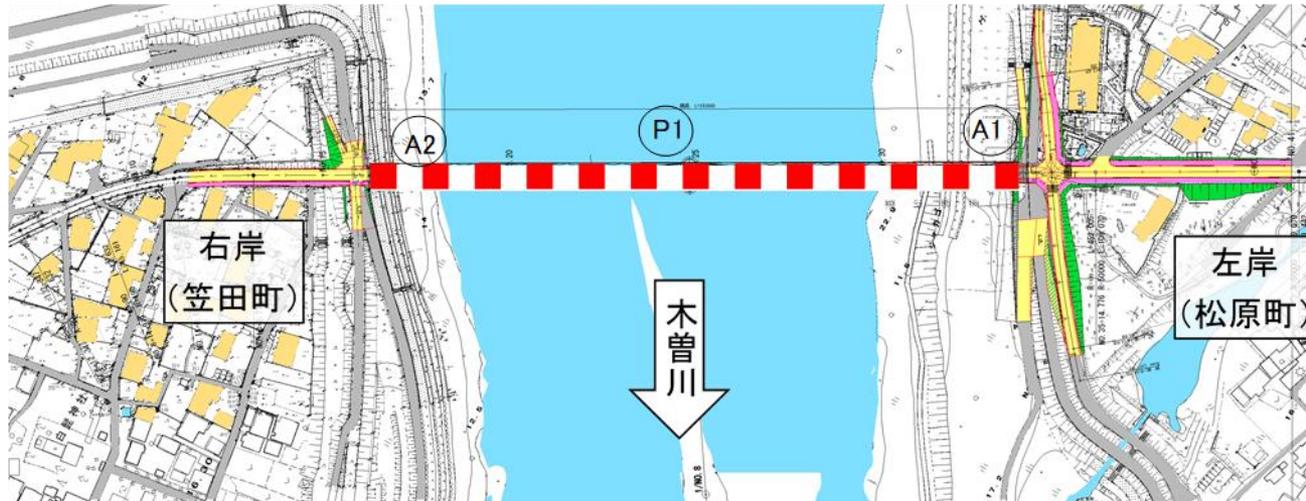


2. 新橋の計画について

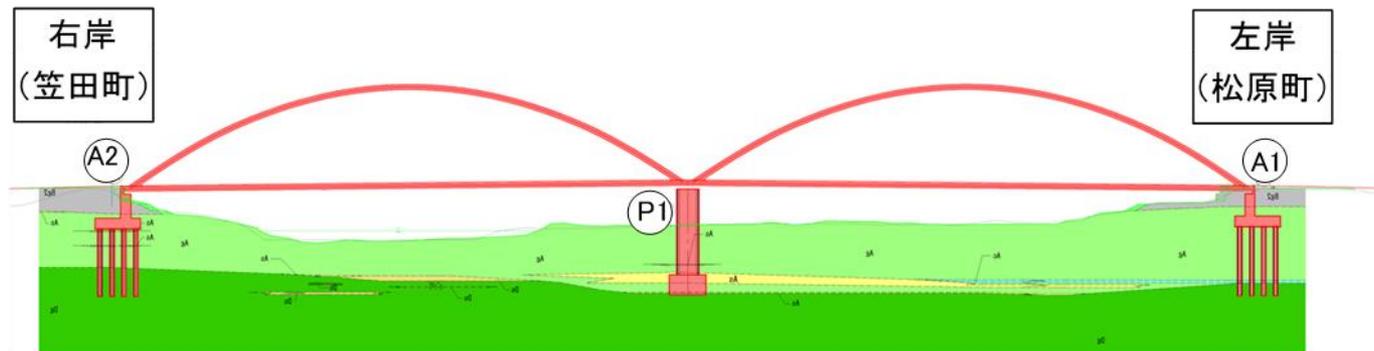
新橋の復旧方針

- 新橋の位置は、既設橋を撤去し、同位置に設置します。
- 新橋の形式は、被災原因の除去や早期復旧を図るため、経済性など総合的に判断して鋼2径間アーチ橋を採用しました。
- (橋梁の専門家を含む川島大橋復旧方法検討会において議論し方針決定)

○平面図

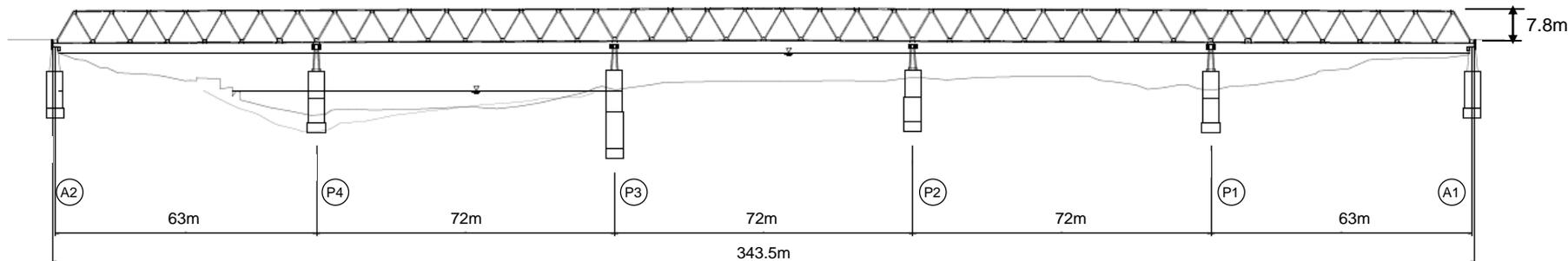


○断面図

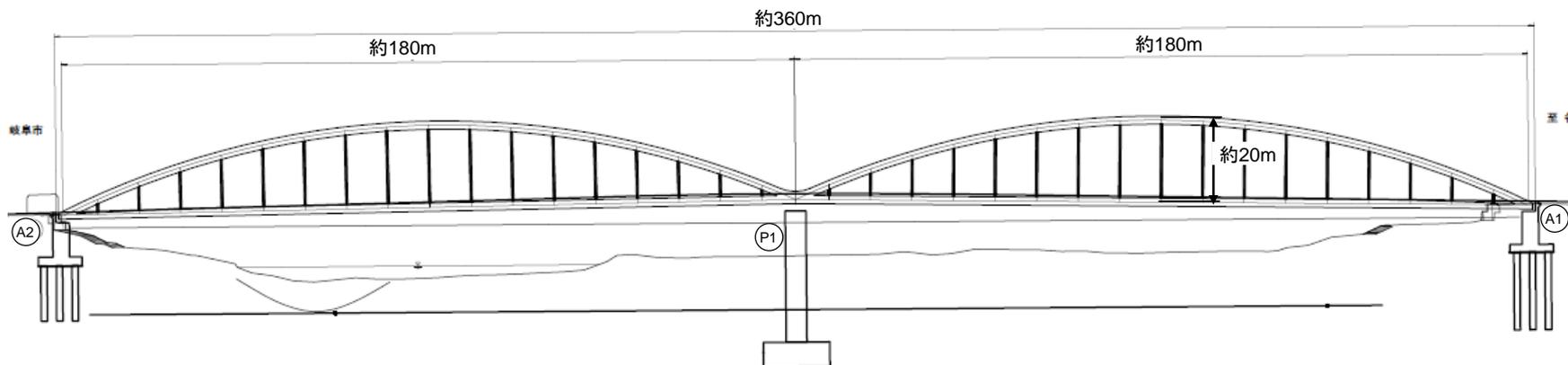


新橋の構造について(旧川島大橋との比較)

- ◆旧川島大橋: 鋼5径間連続トラス橋 橋長343.5m トラス高さ7.8m
橋台2基、橋脚4基



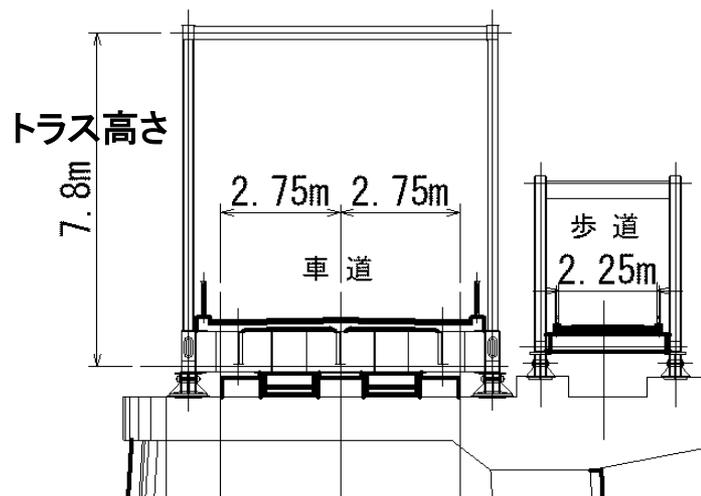
- ◆新しい川島大橋: 鋼2径間連続アーチ橋 橋長約360m アーチ高さ最大約20m
橋台2基、橋脚1基



橋脚、橋台の基礎構造は、強固な支持層に根入れします。

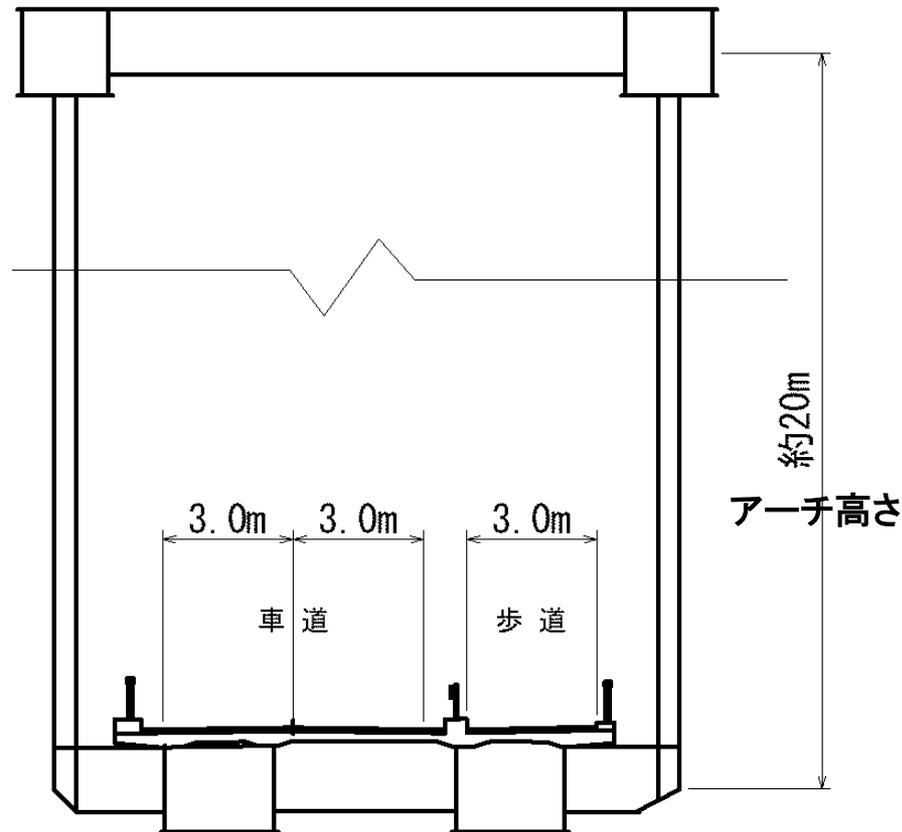
新橋の構造について(旧川島大橋との比較)

◆旧川島大橋: 鋼5径間連続トラス橋



- 車道幅 2.75m × 2車線
- 歩道幅 2.25m
- トラス高 7.8m

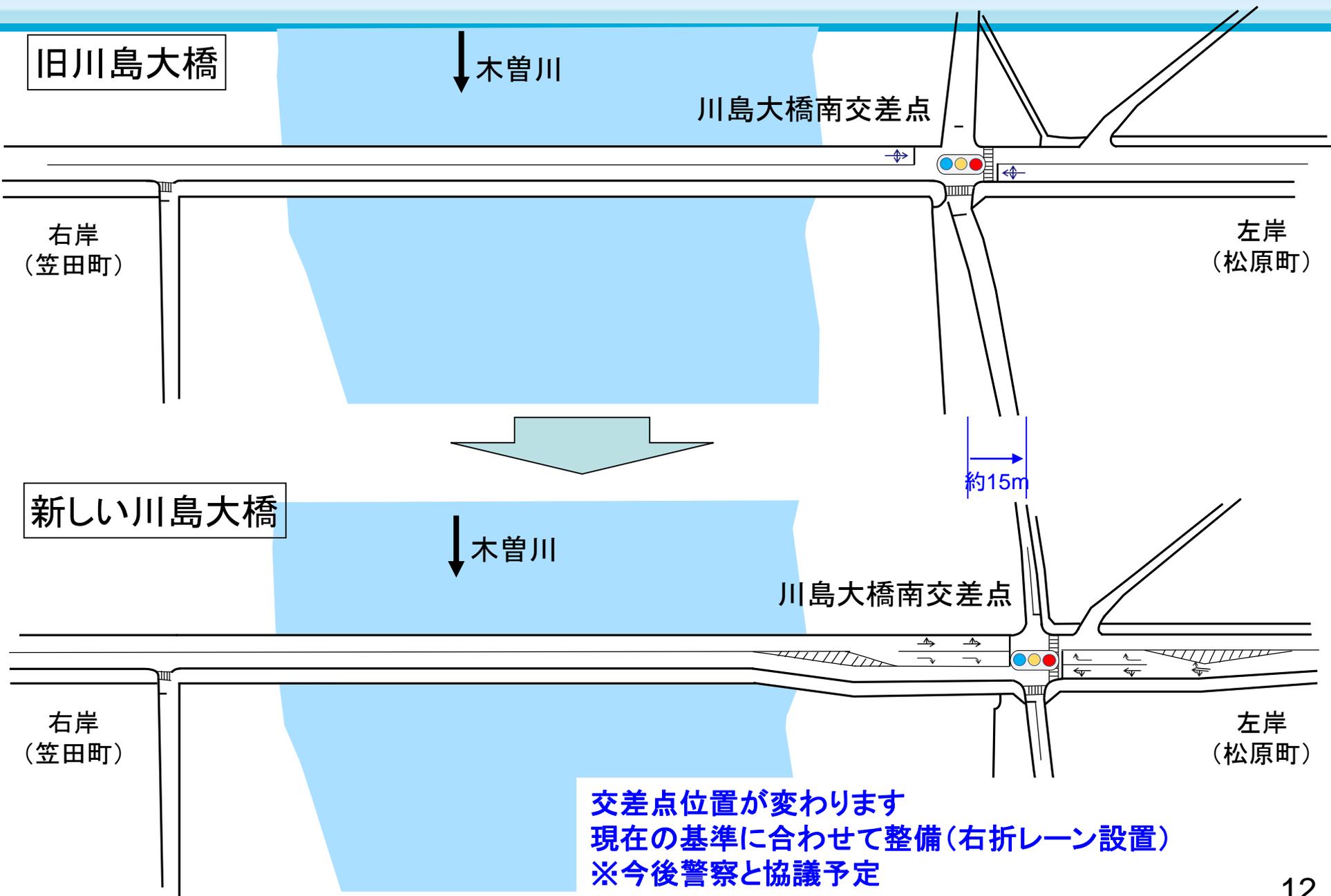
◆新しい川島大橋: 鋼2径間連続アーチ橋



- 車道幅 3.0m × 2車線
- 歩道幅 3.0m
- アーチ高 約20m(最大)

現在の基準に合わせて整備(歩道・車道幅員が広がります)

川島大橋南交差点(松原町側)の位置変更



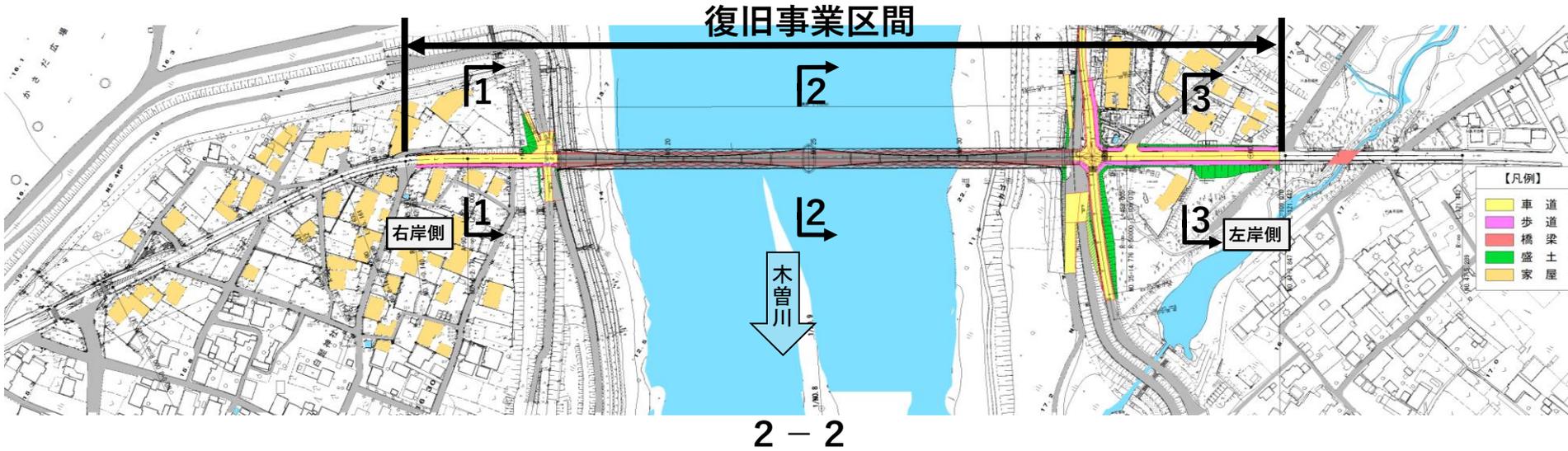


※色彩は関係各所と調整中であり、現時点はイメージです。

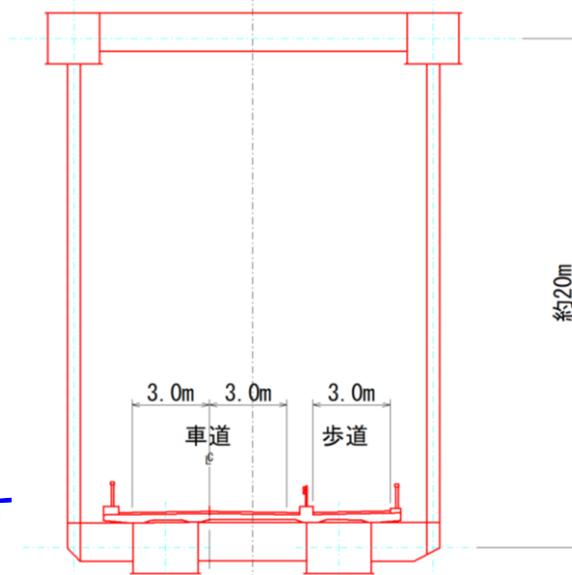
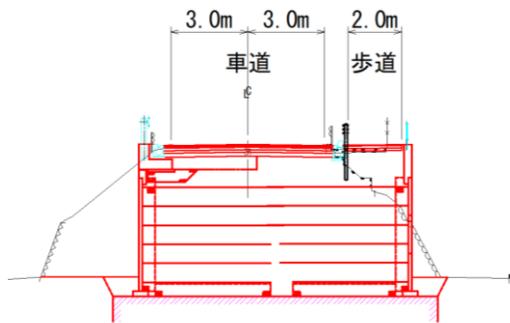
3. 新橋の工事について

復旧事業区間と断面図

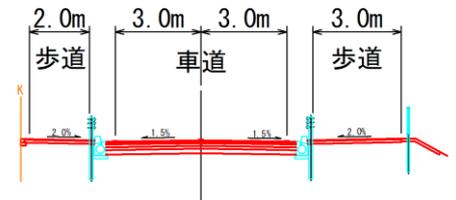
右岸笠田町～川島大橋～左岸松原町



1-1



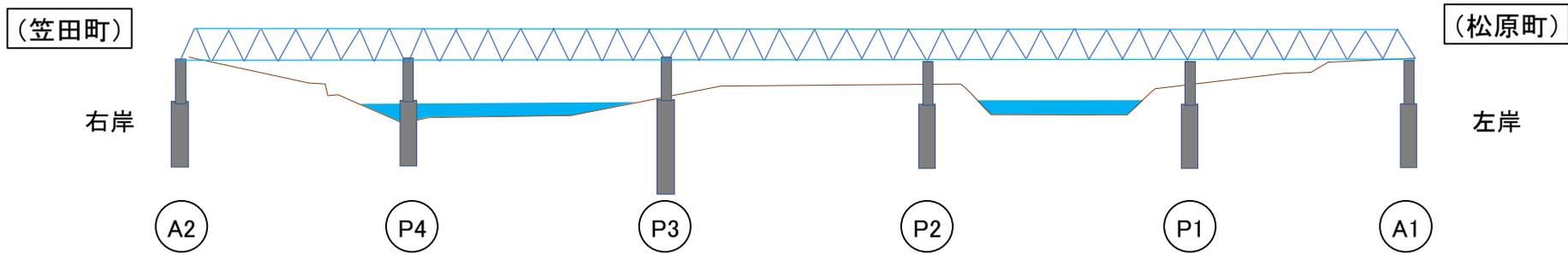
3-3



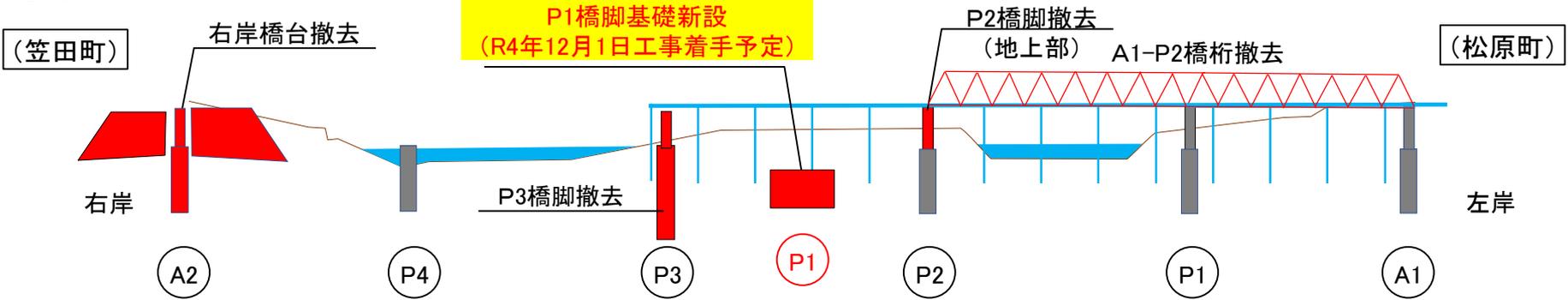
盛土構造から擁壁構造に変わります

工事の流れ(下流側から望む)

①着手前



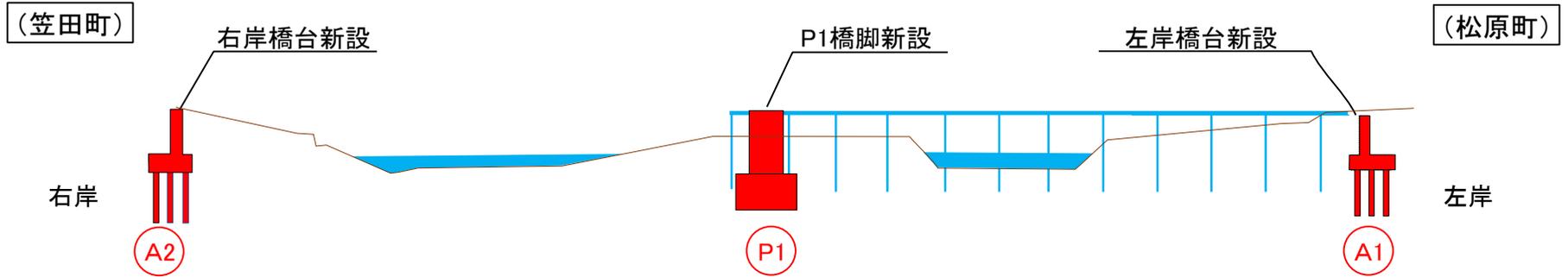
②現在



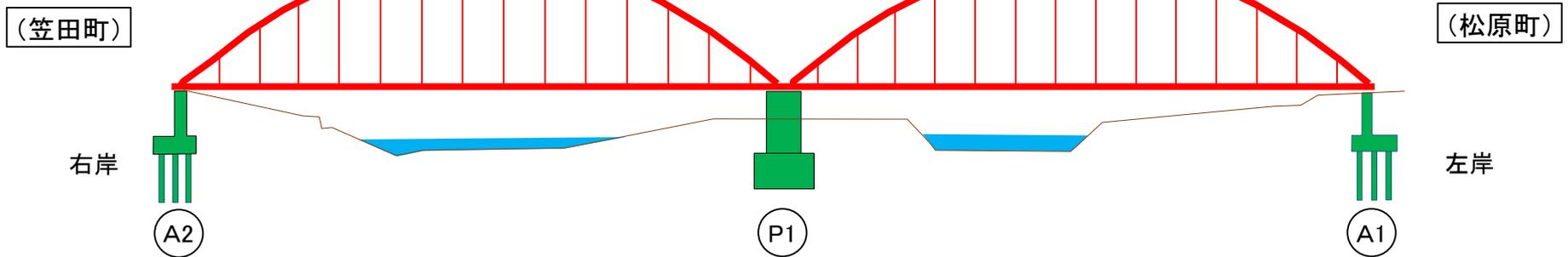
※被災橋梁の早期復旧を目指して24時間施工しています。
 施工に伴う交通規制はその都度回覧で周知いたします。

工事の流れ(下流側から望む)

③下部工施工時



④上部工施工時

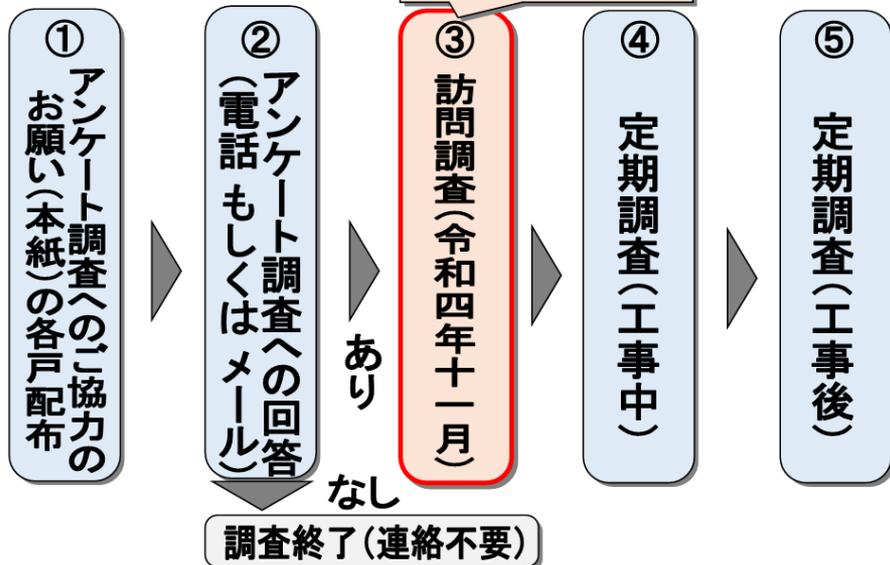


■ 施工中 ■ 施工済

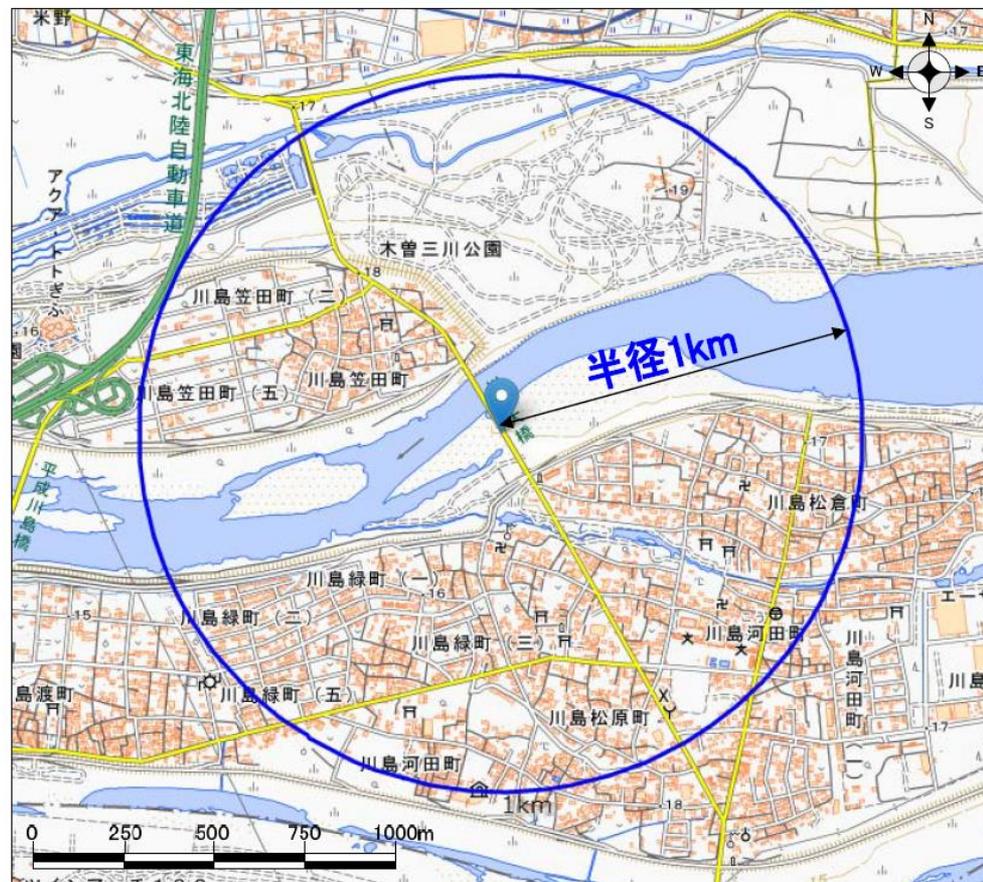
※被災橋梁の早期復旧を目指して24時間施工しています。
 施工に伴う交通規制はその都度回覧で周知いたします。

井戸水位水質・地下室調査

井戸・地下室調査の流れ



井戸・地下室調査の範囲



関係機関と調整しながら、一日も早い復旧を目指して工事を進めてまいります。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。